

農家の告知板

ほたるいもち大暴れ 稲の線虫心枯病

防除法は種子の温湯消毒

大村全市に稲の線虫心枯病が発生しているがこの病気に、かゝれば一名「ほたるいもち」と呼ばれる如く、葉先が、ほたるが光るようになり白く見え葉の伸長が止まってしまつて穂も完全なものが出なくなつてしまふ。

二三年前までは、大村には殆んど見られませんでした。今年は大村に発生しているようです。

防除法は、種子消毒(それも麦の黒穂病予防の如く温湯消毒)をやらねばならぬので非常に面倒です。

対策としては、罹病したものは、打つ手はありませんので、

発生田よりは絶対に種籾は取らぬ事。もし種子とするならば普及員か、農協技術員の指導を受け温湯消毒を必ず行ふ事。

なお他地区より品種を導入する場合は、必ず

ず温湯消毒をして用い農協技術員にお尋ね下る事。

詳しくは、普及員か(農改善及事務所)さい。

クヒエクを根絶しよう

秋ウンカにも御注意!!

「浜のマサゴは驚きるとも稲田にヒエの種子は盡きまじ」何かの文句ではないが、水田がある以上「ヒエ」抜きを、毎年の稲作業から除く事は、不可能のようには思われまふ。

然し乍ら無から有は生れまふ。一人々々の努力次第では、必ずや、この大村から「ヒエ」を駆逐する事が不可能ではないと思ひます。

(農林課)

9月25日までに実施のこと

松喰虫の徹底駆除

農林大臣より防除命令

八月一日から発足した。

なお部落的には、下小路口公民館が、すでに公民館行事の一ツとして、いとも厳肅な結婚改善の式典を舉行しており、また前舟津公民館でも改善組合を結成している。(教委社教課)

三浦で結婚改善組合

結婚改善推進運動は全市に展開されているが、他地区に、さきかけて三浦地区に「地区結婚改善組合」が結成され、今後の運営が大いに期待されています。

すなはち同地区では

去年から引続き結婚改善推進運動を、各部落的に展開し、また菊池三浦出張所長の献身的な努力と、部落民相互によつてこゝに結婚改善組合を結成、事務所を三浦出張所に設置、去

する害虫、②ゾウムシ科に属する害虫、③カミキリムシ科に属する害虫

③行方べき措置の内容

①森林病虫害等の附着している木の樹木の所有者、又は管理者は、当該樹木を伐倒し、枝条を切り取り、その幹、及び伐根(害虫の附着している地下の部分を含む)を、はく皮して森林病虫害等、及び、それらが附着している枝条、又は樹皮を、その所在地附近で焼却すること。

②昭和二十九年四月一日以後、伐採された松の伐採跡地の所有者、又は管理者は、その伐採跡地に放棄された幹、及び根株(害虫が附着し又は附着する、おそれのある地下の部分を含む)を、はく皮し、森林病虫害等、及び、それらが附着している枝条、又は樹皮を、その所在地附近で焼却すること。

③森林病虫害等が附着している松の伐採木等の所有者、又は管理者は、はく皮して森林病虫害等、及び、それらが附着し

ている枝条、又は樹皮を、その場所で焼却すること。

④その他、詳細については市農林課、又は出張所に、お問合せ下さい。(農林課)

森林病虫害等防除法に基く松くい虫等の附着する伐採木等の移動禁止について

右について県告示第五百五十号を以て、次の通り公示されたのでお知らせします。

(一)区域 県内一円

(二)期間 昭和二十九年九月二十七日から、昭和三十年三月三十一日まで

(三)森林病虫害等の種類 ①きくい虫科に属する害虫、②そう虫科に属する害虫、③かみきり虫科に属する害虫

(四)行方べき措置の内容 森林病虫害等が附着している伐採木等の移動禁止 (農林課)

この橋は、多年、長崎県の宿願であつた。いよいよ、日本に於ける貨取橋第一号として来年三月に完成の予定である。

この橋が完成の暁は交通、産業、文化、観光の価値は、極めて大きく、日本の一大名勝となる。

この橋を、全国に紹介し、この橋に、ふさわしい名前を全国から募集して、決定しようとするものである。

伊ノ浦橋(仮称)

正式橋名懸賞募集

長崎市と、佐世保市を結ぶ最短距離の大橋、西彼杵半島の突端、急流渦巻く、伊ノ浦瀬戸に架けた、この橋は、世界で第三位、東洋第一の橋、まさに夢の架け橋である。

(應募資格) 制限なし

(應募方法) 官制はがき一枚に橋名一つを記入のこと

(應募の宛名) 長崎市外浦町

(應募締め) 昭和二十九年十月十五日(当日の消印のあるのは有効)

(審査員) 建設省九州地方建設局長 長崎県知事、及び学識経験者、

(当選者発表) 昭和二十九年十月三十日

(新聞紙上発表)

(建設省、長崎県)

△一等壹万円 一名

△次席五千元 一名

△三席壹千元 三名